

**蓮田市版スーパー・シティプロジェクト(中心市街地のウォーカブルまちづくり)**

**概要**  
 再開発事業による複合拠点を核とし、歩行者空間および憩いスペースをネットワーク化することにより回遊性を高める。併せて、地元商店街との連携により賑わいを創出することにより、出歩きたくなるまちなかづくりを進める。また、防災倉庫の拡充や地元商店街との連携により、災害時に備えたまちづくりを進める。

- 課題**
- ・地域コミュニティの希薄化を見据えた官民連携による持続的な賑わいづくり
  - ・中心市街地の活力の低下を見据えた最先端スマート技術の導入
  - ・災害に強い市街地を形成するための大規模災害時へのリスク対応

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	・歩いて暮らせる 中心市街地の構築	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地が良く歩きたくなる歩行者空間・憩いスペースの創出</li> <li>・道路空間を利用した賑わい創出、エリアマネジメント</li> <li>・歩行者優先の交通規制</li> <li>・公共交通のさらなる利便性の向上(新たな輸送サービスを含む)</li> <li>・まちの情報発信(案内看板等)</li> <li>・生活拠点施設の再編・集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーカブルなまちづくり</li> <li>・商店街活性化</li> <li>・エリアマネジメント</li> <li>・ゾーン30</li> <li>・地域交通の拡充</li> </ul>
スマート	・スマート技術を活用した 移動、輸送の質向上	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街なかの回遊性向上を図る地域アプリの展開</li> <li>・デジタルサイネージによる地域情報、災害情報の伝達</li> <li>・ドローンによる災害物資の輸送</li> <li>・3D都市モデル整備による災害リスクの可視化、防災教育への活用</li> <li>・自動運転技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに活用できるスマート技術全般</li> </ul>
レジリエント	・災害に強い 中心市街地の構築	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EV、太陽光エネルギーからの災害時の電源確保</li> <li>・災害時における生活物資の確保</li> <li>・幹線道路の無電柱化、道路啓開用のスペース確保</li> <li>・防災施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間連携によるEVからの給電、太陽光発電及び蓄電池の設置</li> <li>・自主防災組織、自治会、商店街との連携</li> <li>・無電柱化に係る低コスト手法</li> </ul>

# 蓮田市版スーパー・シティプロジェクト（中心市街地のウォーカブルまちづくり）イメージ図

